

地球温暖化とは、人間の生産活動にともなって排出されるCO₂（二酸化炭素）などの温室効果ガスが大気中に放出されることによって地球表面や大気の温度が上昇し、海面の上昇や生態系へ影響を及ぼすことを言います。温暖化対策のため、ECO（エコ）な生活が大切です。

ECOな生活スタイルを選択しよう

地球温暖化を止めるには、新しい技術力や製品開発も重要ですが、その技術を使う「人間」がとる行動は、もっと重要です。一人ひとりが実践する効果は小さくても、ECOアクションを多くの人が実施すれば、確実に大きなCO₂削減効果が期待できます。



電灯をこまめに消灯、使わない電化製品のコンセントを抜く、冷房温度の設定は28℃にしてECO



暑い夏は「クールビズ」でECO

めていますか？

『環境月間』です

問い合わせ 生活環境課 Tel 23-1134



下水道課 杉本 崇さん

省エネ製品を選択しよう

エアコンやテレビ、冷蔵庫、自動車など、私たちの生活を便利にしてくれる様々な製品。しかしこれらの製品は、「エネルギーを消費する製品」です。温暖化防止のため、購入時には、省エネ性の優れた製品を選択することで、消費電力量等が大幅に削減され、温暖化防止に役立ちます。

例えば、白熱電球をLED電球に替えたり、エアコンやテレビなどを省エネタイプのものに買い替えることは有効です。

6月5日は「環境の日」

「環境の日」は、1972年6月5日からスウェーデンのストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。

国連では、日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と定め、日本では「環境基本法」（平成5年）によって「環境の日」が定められ、6月の1ヶ月間を「環境月間」としています。

ECOに関する新しいことば

■カーボン・フットプリント
CO₂をどれくらい排出しているか、商品などに排出量を明示して購入選択時の一つの目安にする新しい取組み。

■カーボン・オフセット

日常生活や経済活動において排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせる考え方。

■バイオマス

再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの。

例：家畜等糞尿などからのメタンの精製（バイオガス）、木質廃材などセルロース系素材からのエタノールの抽出、廃食用油などの自動車燃料化など

自然を利用したエネルギーを選択しよう

太陽の光や風の力、水の清らかな流れ。これらの自然の中で繰り返し起こる現象から取り出すエネルギーのことを、「自然エネルギー」といいます。太陽光や太陽熱、小水力発電や風力発電、地熱など「自然エネルギー」は様々な形で利用されています。地球温暖化の主な原因となるCO₂を排出する石油・石炭などの化石燃料に対し、CO₂排出のない「自然エネルギー」を使うことは、温暖化を止めるための有効な手段です。



▲太陽光発電を積極的に導入してECO

地球温暖化防止のECOアクション、始めよう

6月は『環境』

私も「クールビズ」でECO



健康増進課 岡崎江利子さん

ネットワークに

参加してECO

やまぐち環境美化

情報ネットワーク

山口県では、多くのみなさんが環境美化活動に参加できるように、全国で初めて環境美化関連情報を簡単に発信・入力できる情報ネットワークを構築しました。

<http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/clean>

※情報ネットワークに登録した人の中から抽選で県産食品を進呈します。(キャンペーン期間：6月20日まで)

お問い合わせ 県環境政策課
Tel 0839-33-2690

キャンペーンに

参加してECO

緑のカーテンキャンペーン

夏の強い日差しを和らげられる自然のエアコン「緑のカーテン」で身近にできる地球温暖化防止対策を実践してみましよう。キャンペーン期間は、5月～9月です。また、今年も「緑のカーテンコンテスト」を開催します。応募要領は広報7月号でお知らせします。



ノーマイカーキャンペーン

6月・12月はノーマイカー強化月間です。日常生活でマイカーの使用を見直し、公共交通機関や自転車を利用することで、温暖化ガスの排出を減らしましょう。

ライトダウンキャンペーン

事業所や家庭で可能な限り照明を消してCO₂の削減に取り組みましよう。

キャンペーン期間

・前期 6月21日～8月31日
重点日

6月21日(夏至)

7月7日

(クールアースデー)

・後期 12月1日～12月31日

重点日 12月21日(冬至)

・前期・後期いずれも実施時間は20時～22時